

令和7年 3月7日

北海道立紋別高等看護学院同窓会会員各位

北海道立紋別高等看護学院 同窓会

会長 鈴木 明美

同窓会解散について（ご報告）

早春の候、皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、当会の運営に何かとご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

早速ですが、昭和49年に設立され50年間続いてきた当同窓会は本年3月末日をもちまして解散することになりましたことをご報告いたします。

本来であれば、会員の皆様に総会等でご相談することが最善であるとは考えましたが、一堂に会することは難しいと判断いたしました。臨時役員会を開催し、三役並びに紋別在住の有志の会員と協議の結果、解散の決定をさせていただきました。

解散の理由として、近年卒業生の減少とともに地元に残る会員が減少し、役員交替も難しい現状となっています。それに伴う役員の高齢化があげられます。現在の活動は、学院行事への援助として、卒業式の花束贈呈と、卒業生への記念品授与に留まっており、同窓会の目的の一つである、親睦を深める活動が出来ていない状況です。社会情勢を鑑みると、今後も総会の開催を含め会員が一堂に交流することは難しいのではないかと考えました。

これまでの積み立て会費（平成6年度卒業生までの1118名分）の残高は116万811円となりました。今年度新校舎に移転しました母校の発展に寄与する目的で、学院に小児バイタルサイン人形（110万円）を寄贈いたしました。なお、残金につきましては、市の社会福祉協議会に募金いたしました。

総会の開催ならびに同窓会誌の発行に至らず、会長の力不足を痛感しております。申し訳ございません。なお、会費の運営は適正に行われていたことを会計監査より報告を受け確認しております。

さらに、個人情報保護の観点から皆様の住所等の把握が困難で、封書等でのお知らせが叶わずホームページでのご報告とさせていただきましたことを、ご了承いただけると幸いです。

同窓会の解散という淋しさの残るご報告となりましたが、今後も北海道立紋別高等看護学院の同窓生であることは変わりありません。引き続き、医療・福祉の現場での皆様のご活躍を祈念いたします。

最後になりましたが、皆様のご健康・ご多幸を心から念じ、同窓会解散のご報告と私のお礼の挨拶とさせていただきます。

長い間有難うございました。